

まちづくりの戦略

1 将来都市像

時代の転換期にあたる今、私たちには、人口減少・少子高齢化、環境、安全や産業構造への対応、さらには地方分権化への対応と財政健全化など、多くの課題が山積しており、世界の大きな変化の潮流は、亘理町にも大きなうねりとなって押し寄せて来ています。また、町民の多くが物質的な豊かさとともに、ゆとりやうるおいといった精神的な豊かさを求めるようになってきています。個性がより重視され、生活、文化、産業などあらゆる分野で町民の価値観の多様化が進み、まちづくりに対する町民のニーズもますます多様化、高度化しています。

こうした大きな変化のなかで、町の歴史と自然、社会的特性をいかした豊かな地域づくりを町民と行政が力を合わせて推進することにより、町民一人ひとり、また、まちを訪れた方々が笑顔で過ごし、語らえるまちをつくることを目指し、亘理町の将来都市像を次のとおり定めます。

将来都市像設定のキーワード

- 亘理町の自然環境 … 『山と川、里と海』がワンセット
⇒ 様々な環境をいかし、町民も来訪者も豊かに暮し・過ごせる環境を形成
- 亘理町の歴史 … 町民がこれまで築き上げてきた歴史や文化
⇒ これまでの『時代』の流れ（時の流れ）を未来に『つなぐ』環境を形成
- 亘理町の課題 … 大きな課題は定住促進
⇒ 暮す『人』・訪れる『人』が亘理町で過ごす時間の価値を高める環境を形成
⇒ 暮す『人』・訪れる『人』の交流（『つながり』）を通じて課題へ対応

【将来都市像】

(時の流れ)
山と川、里と海を人と時代でつなぐまち

2 基本理念

(1) 基本理念

将来都市像の実現に向けて日々まちづくりに取り組む際、町民・事業者・行政など、まちづくりに関わるすべての主体が、常に心に留めておくべき基本的な考え方として、次のとおり、まちづくりの基本理念を定めます。

(時の流れ)
基本理念を胸に、「山と川、里と海を人と時代でつなぐまち」を実現することにより、定住人口 34,000 人の維持を目指します。

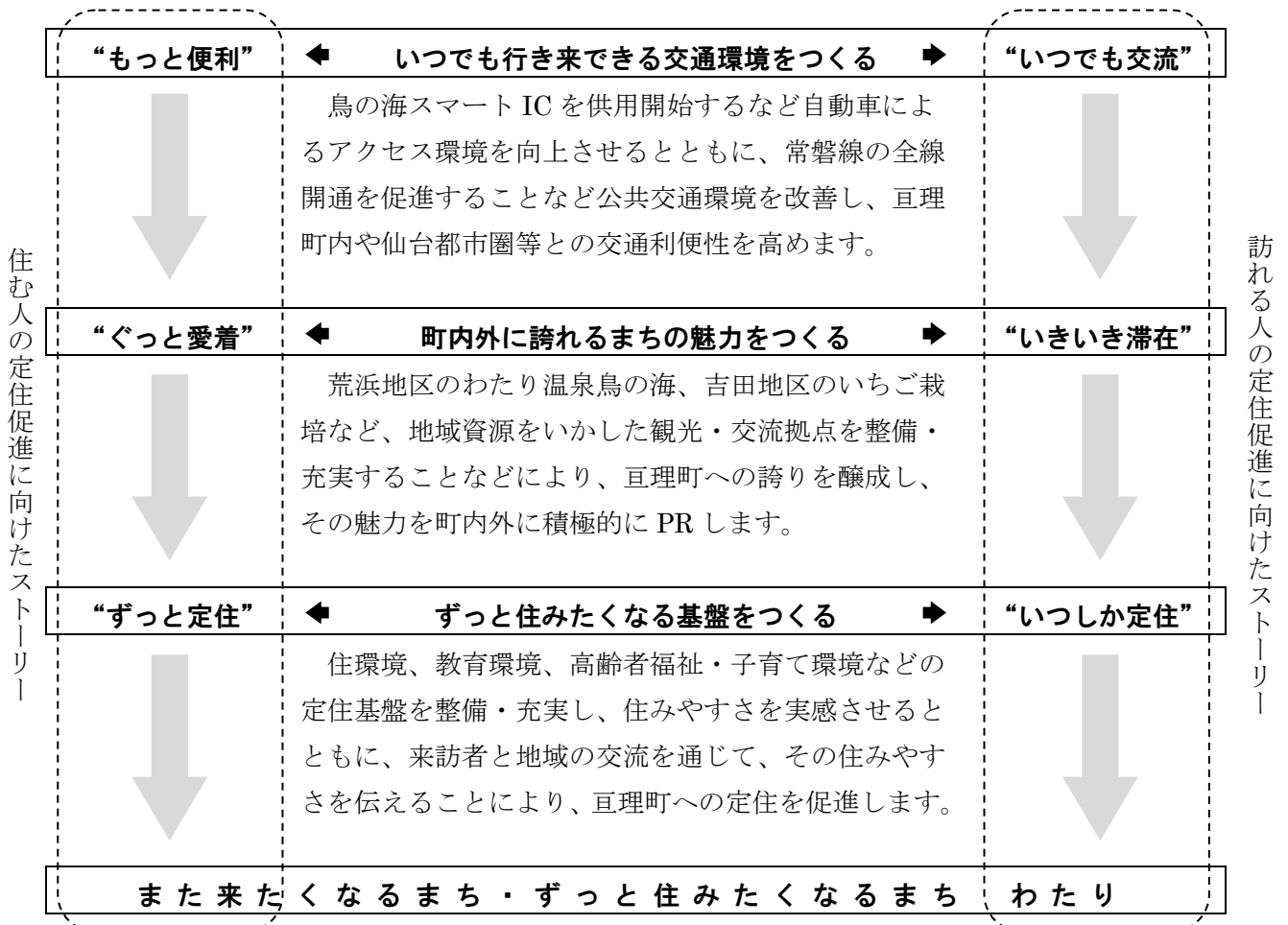
【基本理念】

－ 定住人口 34,000 人の維持に向けて －

また来たくなるまち・ずっと住みたくなるまち わたり

『さよなら』 Good bye ではなく 『またね』 See you といえるまち

(2) まちづくりのストーリー



3 基本戦略

(1) 持続的安定成長を支える基礎づくり

町民の定住意向に応え、暮らしの満足度を高めるために、働く場の確保の基礎である亘理町産業経済の安定的成長を推進するとともに、町民の暮らしと産業活動の場である都市空間を快適で利便性の高いものになるよう整備します。

その際の基本的な考え方は、量から質への転換、画一化から多様化への転換です。これまでのまちづくりの蓄積を活用しながら、知恵と工夫でまちづくりを進め、質的な向上や様々な付加価値の創出を図ることにより、人々に“選ばれるまち”を目指します。

① 持続可能なまちの基盤づくり

亘理町への来訪者（交流人口）を増やし、それを定住に結び付けられるよう、次の計画を推進します。

● 交流人口増加計画

観光・交流のための拠点的な地区を整備・拡充するとともに、亘理町の魅力を国内外に発信することにより、交流人口の増加を図ります。

● 定住化促進計画

亘理町全域を“公園”と見立て、快適でゆとりのある都市空間を整備するとともに、日常生活の拠点となる都市機能（公共公益施設など）集積地の形成を図ります。

② わたしとわたりのブランドづくり

亘理町の産業経済の安定的成長を、質的な向上や様々な付加価値の創出という面から支えるため、次の計画を推進します。

● わたりブランディング計画

農水産品を中心とした亘理町の資源をいかし、6次産業化を進めるとともに、それらを全国的なブランドに成長させます。

(2) みんなで支える安心生活環境づくり

少子・高齢化、核家族化、夫婦共働きの進行や未婚率の上昇、高齢者の独り暮らしの増加などが進行し、町民の価値観やライフスタイルが多様化するなか、自助機能が低下するとともに、家族や個人の孤立が問題となるケースがみられます。こうした状況に対応するため、家族や身近な地域コミュニティ、行政がそれぞれの役割や特性に応じ、ともに課題の解決に取り組むことができる「つながりのある多世代コミュニティ」を形成することにより、定住促進を目指します。

その際の基本的な考え方は、すべての人の生きがいと健康づくりです。これまでに築き上げられた地域コミュニティを大切にしながら、子ども・大人・お年寄り、すべての世代がそれぞれいきいきと暮しつつ、ともに支え合う「自助と共助」の環境を整えていくことを重視します。

② ともに学び育て合う人づくり

次代を担う人材を育成するため、子どもの発育段階や個性を尊重した育成・教育環境づくりを進めるとともに、それに関わる大人もまたともに学び続けられるよう、次の計画を推進します。

● 未来をたくす子ども育成計画

次なる新しい時代を担っていく子どもたちを健全に育成するため、社会全体で子どもの成長を支えながら、発育段階に応じた育成・教育を行うとともに、そのための場や環境の整備を推進します。

● 生涯にわたる生きがい形成計画

地域の大人が、子どもたちを育成し、また、豊かで生きがいのある人生を歩んでいくために、自ら学び続けられるよう、いつでもどこでも誰もが学習でき、交流できる環境づくりを進めます。

④ 未来に続く健康づくり

町民の充実した日々の生活を支える基礎は“健康”です。誰もが心身ともに健康で日々の生活を送れるよう、次の計画を推進します。

● 多世代コミュニティによるつながり創生計画

子どもからお年寄りまでが、地域コミュニティの中で安心して暮らせるよう、みんなで支え合う地域づくりを進めます。

● 元気サポート計画

健康寿命を延ばして、生涯現役で過ごすために、一人ひとりが「からだ」と「こころ」の健康を意識し、適度な運動やバランスのとれた栄養・食生活が送れるよう、サポート体制を充実します。

(3) 町民の活動を支える協働の社会づくり

今後ますます高度化、多様化する行政ニーズに的確に対応し、地方分権時代にふさわしい個性的で自立したまちづくりを進めていくため、これまで以上に住民参画、町民と行政の協働のまちづくりを進めていきます。

その際の基本的な考え方は、行政主導のまちづくりから、行政と町民が連携して取り組む地域協働・住民自治のまちづくりへの転換です。まちづくり協議会等のまちづくり団体を中心にして、町民主体の活動を行政が支援するという構図を目指します。また、このような町民主体の取り組みを通じて安全・安心して過ごせるまちづくりを進めていきます。

⑤ 絆を深める自治づくり

「地域の課題は地域で解決する」という考え方を浸透させるため、次の計画を推進します。

● まちづくり団体発展計画

まちづくり協議会など、地域活動の中心となるまちづくり団体の自主的で自発的な活動を積極的に支援していきます。

● 安全なまち形成計画

「亘理町震災復興計画」に基づき、着実に整備が進んでいる防災施設や避難施設を、いざという時に有効に活用できるよう、地域における防災訓練・防災教育等を推進します。また、交通安全のための施設整備や交通安全・防犯推進体制の整備等を通じて、地域の安全性向上に取り組みます。

4 重点的な取組み

基本戦略に基づき、今後 10 年間で重点的に取り組むプロジェクトを以下のとおり設定します。

(1) 持続可能なまちの基盤づくり

① 交流人口増加計画

プロジェクト名	内 容
わたりプロモーションプロジェクト	新たな人の流れを亶理町に呼び込み、交流人口の増加を図るため、プロモーションビデオの作成、観光情報誌への広告掲載、人目に付きやすい場所への看板設置など、亶理の魅力を最大限に発信する PR 活動を展開します。
荒浜総合整備プロジェクト	荒浜漁港を中心とした地域に漁業及び水産関連施設の集積を図るとともに、鳥の海の周辺一帯に水産資源、マリンスポーツ、わたり温泉鳥の海、公園緑地、鳥の海を周遊するサイクリングコースや、パークゴルフ場などを整備し、観光・交流拠点化を推進します。
イチゴランドプロジェクト	いちご団地を有効活用し、東北一のいちご産地の形成を目指すとともに、生産・加工・販売に取り組むことによる付加価値の向上や亶理いちごのブランド化を推進し、将来的には消費者との交流拠点の整備を検討します。
集客倍増プロジェクト	農水産物・加工品など亶理ブランド商品の開発・販売の場の整備、新規産業の育成や飲食・店舗などの新規出店の促進、イベントの開催など、地域資源をいかした集客施策を積極的に展開し、亶理町に訪れる人を増加させます。

② 定住化促進計画

プロジェクト名	内 容
公共ゾーンプロジェクト	亶理駅周辺の市街地の東側に、町役場やその他の公共公益サービス施設の集積を図り、町の公共公益サービス、教育文化、コミュニティ等の中心を形成することにより、日常生活の利便性を高めます。
パークタウンプロジェクト	山と川、里と海がワンセットという恵まれた環境や歴史資源等をいかし、「亶理町に一步入ればそこは公園」という余裕と豊かさを備えた居住環境を形成し、若者を中心に定住化を促進します。

(2) わたしとわたりのブランドづくり

① わたりブランディング計画

プロジェクト名	内 容
6次化プロジェクト	農水産物の生産・加工・流通の一体化や販路拡大等に努め、地域産業の活性化と雇用の創出を目指します。
農水ブランディングプロジェクト	亶理町の農水産物や農水加工品、地域資源を活用した新たな産業などを亶理ブランドに育て上げます。

(3) とともに学び育て合う人づくり

① 未来をたくす子ども育成計画

プロジェクト名	内 容
育て合う教育環境プロジェクト	学校・保護者と地域が結びつき、地域全体で子ども達を守り・育てる、互理の地域に密着した教育環境づくりを行います。

② 生涯にわたる生きがい形成計画

プロジェクト名	内 容
学習機会多様化プロジェクト	いつでもどこでも誰でも生涯学習が受けられる機会・環境をまちづくり協議会とともに提供していきます。
交流機会拡大プロジェクト	生涯学習機会やイベントを通じた世代間交流・地域間交流・国際交流を積極的に推進します。

(4) 未来に続く健康づくり

① 多世代コミュニティによるつながり創生計画

プロジェクト名	内 容
子育て一番プロジェクト	妊娠・出産期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制の充実を図るとともに、子育て支援施設を整備するなど子育てのサポート体制を整えます。 また、地域の深い愛情のなかで子育てができるよう、住民意識の醸成と体制の構築に取り組み、若者の定住を促進します。
地域ぐるみ介護プロジェクト	介護予防施設を整備するほか、介護ボランティアが活動しやすい仕組みを整え、手助けを必要とする高齢者への支援を地域で行います。

② 元気サポート計画

プロジェクト名	内 容
元気快汗プロジェクト	健康づくりを推進し、健康寿命を伸ばすため、幼児から高齢者までが元気に心地よく汗をかくことができる場や支援体制を整備します。 また、一人ひとりが生活習慣病予防や重症化予防に取り組めるよう、支援に努めます。

(5) 絆を深める自治づくり

① まちづくり団体発展計画

プロジェクト名	内 容
まちづくり活動発展プロジェクト	まちづくり協議会など、地域活動の中心となるまちづくり団体の地域課題解決のための自主的・自発的な活動を促進するため、その支援に努めます。

② 安全なまち形成計画

プロジェクト名	内 容
防災避難環境整備プロジェクト	防災関連施設の整備、防災訓練の充実や防災教育の推進を図るとともに、いざという時に備え、災害時の広報活動・情報提供体制を確立します。

施策推進の全体像

【基本理念】

— 定住人口 34,000 人の維持に向けて —

また来たくなるまち・ずっと住みたくなるまち わたり

『さよなら』 Good bye でなく 『またね』 See you といえるまち

【まちづくりのストーリー】

- いつでも行き来できる交通環境をつくる
- 町内外に誇れるまちの魅力をつくる
- ずっと住みたくなる基盤をつくる

【住む人の定住】

- ⇒ “もっと便利”
- ⇒ “ぐっと愛着”
- ⇒ “ずっと定住”

【訪れる人の定住】

- ⇒ “いつでも交流”
- ⇒ “いきいき滞在”
- ⇒ “いつしか定住”

【基本戦略】

1 持続的安定成長を支える基礎づくり

① 持続可能なまちの基盤づくり

交流人口増加計画

定住化促進計画

【重点的な取組み】

わたりプロモーションプロジェクト
荒浜総合整備プロジェクト
イチゴランドプロジェクト
集客倍増プロジェクト

公共ゾーンプロジェクト
パークタウンプロジェクト

【施策項目】

- 1 調和のとれた土地利用の推進
- 2 市街地・公共ゾーンの整備
- 3 道路・交通網の整備
- 4 情報・通信基盤の整備
- 5 住宅対策の充実
- 6 公園・緑地の整備
- 7 上・下水道の整備
- 8 環境保全と景観形成の推進
- 9 公衆衛生とリサイクル対策の充実

② わたしとわたりのブランドづくり

わたりブランディング計画

6次化プロジェクト
農水ブランディングプロジェクト

- 1 農林水産業の振興
- 2 工業の振興
- 3 商業の振興
- 4 観光の振興
- 5 雇用対策と勤労者福祉の充実

2 みんなで支える安心生活環境づくり

③ とともに学び育て合う人づくり

未来をたくす子ども育成計画

生涯にわたる生きがい形成計画

育て合う教育環境プロジェクト

学習機会多様化プロジェクト
交流機会拡大プロジェクト

- 1 学校教育の充実
- 2 生涯学習体制の充実と活動の推進
- 3 芸術・文化活動の充実
- 4 生涯スポーツの振興
- 5 文化財の保護・伝承及び活用
- 6 国際交流・地域間交流活動の推進

④ 未来に続く健康づくり

多世代コミュニティによるつながり創生計画

元気サポート計画

子育て一番プロジェクト
地域ぐるみ介護プロジェクト

元気快汗プロジェクト

- 1 保健・医療・福祉の連携強化と活動拠点の整備
- 2 健康づくりの推進
- 3 保健・医療体制の充実
- 4 地域福祉の推進
- 5 児童福祉・子育て支援対策の充実
- 6 高齢者福祉の充実
- 7 障害者福祉の充実
- 8 社会保障等の充実

3 町民の活動を支える協働の社会づくり

⑤ 絆を深める自治づくり

まちづくり団体発展計画

安全なまち形成計画

まちづくり活動発展プロジェクト

防災避難環境整備プロジェクト

- 1 まちづくり基本条例の活用
- 2 地域協働のまちづくり体制の確立
- 3 地域活動・コミュニティ活動の充実
- 4 ボランティア活動・NPO活動の充実
- 5 人権尊重・男女共同参画社会の推進
- 6 防災対策、消防・救急対策の充実
- 7 交通安全・防犯・消費者対策の充実
- 8 行政運営の改革の推進
- 9 財政運営の効率化
- 10 広域行政の推進

【将来都市像】

山と川、里と海を人と時代でつなぐまち

(時の流れ)

